

令和4年度						年間授業計画			
教科・科目			家庭			家庭基礎		2 単位	
対象学年・組			2年生			必修			
教科書 (出版社)			自立・共生・創造 家庭基礎（東京書籍）			副教材等		教科書準拠 自立・共生・創造 家庭基礎学習ノート（東京書籍）	
学習目標			家庭基礎では、健康で安全に快適な毎日を過ごし、自らの生活に役立つ知識や技術を身に付け、「自分らしい生活を作り出せる」を学習目標としている。 また、自分の将来・人生を見つめ、親や高齢者として生きる上で必要な役割等についても学習し、共生とは何か、エシカルな生活とは何か考える力を身につける。 実習においては、生活に必要な最低限の知識・技術の習得はもとより、身の回りの物事を効率的に進めるための段取り力を身につける。						
学期		予定 時数	単元		指導内容		具体的な指導目標		
1	前半	12	第一章 自分らしい人生をつくる 第三章 高齢社会を生きる 第四章 共に生き、共に支える		生涯発達の視点/青年期の課題/目標も持って生きる/人生をつくる/家族・家庭を見つめる/これからの家庭生活と社会 高齢期を理解する/高齢者の心身の特徴/これからの高齢社会 私たちの生活と福祉/社会保障の考え方/共に生きる		社会の中での自分の在り方について客観的に見つめ、自己理解を深めて、自らの人生を考える。 ライフサイクルの一部として老後の生き方を考え、高齢期の理解を深める。 社会保障について学習し、共に生きる社会を作り出せるようにする。		
	後半	12	第六章 衣生活をつくる		被服の役割を考える/被服を入手する/被服を管理する/これからの衣生活/布を用いた生活の知恵		被服の生産過程、洗濯や繊維の表示を理解する。 社会における被服の役割、持続可能な社会やエシカル消費など多様な視点で衣生活を考える。被服の維持・管理に必要な基礎縫いを身につける（製作実習）。		
2	前半	14	第七章 住生活をつくる 第二章 子供と共に育つ		住生活について考える/住生活の設計と洗濯/これからの住生活 子どもの育つ力を知る/親として共に育つ/子どもとの触れ合いから学ぶ/これからの保育環境		住居の機能、管理について理解する。 多様な住まい方や環境との共生について理解を深め、考える。 子どもの基礎的な知識を身につけ、親としての姿勢を考えさせる。 現代の子育て環境や地域社会との関わりに関心を持ち、社会の一員としての態度を身につける。		
	後半	14	第五章 食生活をつくる		食生活の課題について考える/食事と栄養・食品/食生活の安全と衛生/生涯を見通した食事計画/調理の基礎/これからの食生活/日本の伝統的な食文化		栄養や身体を理解すると共に、自己の食生活を振り返り改善の手立てを考える。 経済・環境・伝統文化等の社会的視点から食生活のあり方に関心を持ち、安全で衛生的な食生活を営む力と態度を身につける。		
3		18	第八章 経済生活を営む 第九章 生活を設計する		職業生活を設計する/計画的に使う/国民経済・国際経済と家庭の経済生活/現代の消費生活/消費者の権利と責任/これからの消費生活と環境		家計の仕組みと経済の関係性、契約など、生活に必要な知識を身につける。 電子マネー、クレジット、ローンなど経済の多様化について学習し、多重債務などリスクについても理解する。 循環型社会、持続可能な社会の担い手としての知識と態度を身につける。 年間の学びを元に、人生設計をする。		
評価の観点 (評価基準)			本科目の学習目標達成にむけて、知識・技能が習得出来たか、意欲的で実践的な態度で取り組めたか、協働において他者への配慮や協力する姿勢で取り組めたか。						
評価の方法			定期考査・作品や提出物などの課題・授業へ取り組む姿勢等を総合的に判断し、評価をする。						
学習の手引き			互いに学びあって自己の能力を引き出せるようにする。 教科書、学習ノートなどは毎時間用意し、教材教具の自己管理をする。 実習は互いに協力し合って作業する。また、実習時の忘れ物にも注意する。						
授業担当者			嶋根智子						